

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(平成31年2月6日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>ジュネットコミックス354 ピアスシリーズ542 恋獄のミレニウム</p> <p>平成31年1月15日発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物語はファンタジー的なストーリーではあるものの、一部に拘束や人格否定の部分が見受けられる。局部は修整されているものの、形がわかるようになっているのが卑わいに感じられる。指定該当 ・性交シーンは背後からのカットなど直接的な描写を避ける配慮はうかがえる。性器の描写も許容範囲と判断。ただ体液、精液が多いので卑わい感は増している。擬似性交も体液が多く、卑わい感を増している。指定該当 ・設定がSFであるが、尻尾も性器のように展開しているのは見事。だが、性器の消し方が青年レベルではなく、形状がハッキリとわかってしまう。全体の展開もエッチシーンが多い印象。青年向けであればストーリー中心であってほしかった。指定やむなし。 ・悪魔と天使という設定ではあるが、描写はほぼ人間と同じ。性器らしき部分の修整は施されているが、汗らしき体液、精液らしき体液が大量で、擬音描写も過剰な印象。指定やむなし。 ・天使と悪魔という構図だが、大枠では人間の容姿として描かれている。性交シーンもそれぞれの章立てにあり、擬音、体液の描写も多く卑わいに感じる。修整は施されているが性器の形状がわかる状態である。結合部の断面図もあり、卑わいに感じる。指定該当 ・コミカルに描かれているが、凶器が使われるなどあまりに暴力的で性交描写も乱暴になっている。指定該当 ・性器が白抜きになっているが形状がわかり、器具の使用や暴力的で人格否定的部分もある。指定該当 ・白抜きで修整をしているが、修整が甘いところもあり、性描写もある。指定やむなし。 ・大部分が性行為だが、悪魔と天使のようなのであまり卑わいに感じなかった。全体的にストーリーもまとまっていると思うが、一部性器らしき物があり、消しが甘いので形がわかる。指定該当 ・暴力から始まり、性交場面も多く、擬音や体液の描写も多い。局部は白抜きに消してあるが、それが卑わい感を増しているようにも感じる。天使と悪魔の戦いであり、人とは違う。内容的にはコミカルでストーリー性もあるが、好きな人しか読まないと思う。保留 ・登場人物は神父と悪魔となっているが、ストーリー性も含めよく分からない。修整は白抜きがされているが、形状は判別出来る。結合部をリアルに描きたい様だが、絵がごちゃごちゃしていて分かり辛い印象。強制と受け取れるシーンや暴力的なシーンも描かれている。擬音、体液描写も多いが、設定からリアル感はないと判断。保留 ・擬音や体液の描写は多いがそれほど卑わいな感じは受けなかった。しかし、一般的には判断に迷う。保留 ・第15条第1号イの基準に該当する頁はあるものの少なく、同条同号口は該当と思う頁がなかった。その結果、総じて読んだ時に、青少年の性的感情を著しく刺激し、健全な成長を阻害するおそれがあるとは思えない。指定非該当 ・拘束による性交が描かれているが、「悪魔との戦い」のストーリーとギミックがあり、人格否定とまでは言えない。絵柄もきれいで体液描写もことさら強調されているとは言えず卑わい感はない。性器もほぼ完全に消している。消し面積が小さくとも全画面の中に収まって露骨ではない。指定非該当 ・器具を使ったり、消しも形が分かったりするところもあるが、画角には工夫がしてある。縛りもあるが人格否定とまでは言えない。後半は性交シーンが多かったが卑わい感自体は薄かった。該当するとされている部分も、画角で工夫している部分を除けば分量も指定されるほど多くない。指定非該当 ・男性器の修整が甘く、形状がはっきりわかる描写も見られるが、数は少ない。ストーリー性があり、性交シーン以外にもかなりのページ数を割いている。男性器や結合部分を強調しないよう、構図にも一定の配慮がある。指定非該当 ・性器は白抜きされており、一部形状が分かるものもあるが、それほど露骨ではない。絵の描き方が全体的にごちゃごちゃしているため、構図や擬音、体液描写が分かりにくい。一応のストーリー性はある。凌辱的なシーンもあるが、荒唐無稽な設定で現実味がない。指定非該当 ・現実には考えられない描写が多い。脅迫的・暴力的で、またナイフの使用もあり、ストーリー性もあまり感じられない。表現方法もいろいろあるのだなと感じた。指定非該当

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(平成31年2月6日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	<p>ジュネットコミックス355 ピアスシリーズ543 極道ポルノ</p> <p>平成31年1月15日発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルの「ポルノ」は非常に残念。何度か指定を受けているところなので、タイトル部分での配慮が必要と思う。内容に関しては性交シーン、擬音や体液描写が多く、卑わいさを強くしていると思う。指定該当 ・マニアックな内容ではあるが、第15条第1号イとロの基準に該当するページが多すぎる。指定該当 ・絵柄がきれいで卑わいということはない。性器を白く消してはあるが、露骨なポージングのもと性器を手で握らせる表現をとり、ことさら形をハッキリ伝えようとしている。また、肛門部分などの消しのごく小さい場合も散見される。指定該当 ・漫画の内容と画力は素晴らしい。ただ、性器の消し方が青年レベルではなく形状がハッキリとわかってしまう。中盤での薬を使って犯すのも描写が露骨すぎる。青年レベルなら、画角でなんとかならなかったのかと思う。指定やむなし。 ・消しはしっかりしているが、逆に浮き上がって見える。極道モノということで薬物やレイプがあるのが気になる。卑わい感は少ないが、性交シーンの分量と性器の形状のわかるシーンの多さとレイプ、薬物を加味すると、指定やむなし。 ・男性器の修整が甘く、形状がはっきりわかり、露骨で卑わいな感じを与える。性交シーンが多く、暴力的な性交も見られる。擬音、体液の描写も多い。薬物の使用あり。指定該当 ・修整は白抜き加工が施されており、形状もリアルという程ではない。擬音、体液描写は多い印象。一部拘束具を使用しているシーンが描かれている。修整を施しながらも結合部を描いたカットが多くなっており開脚シーンが目立つ。強制と受け取れるシーンもあり、帯にも「レイプ」の文言がある。指定やむなし。 ・前半はそれ程多くなかったが、後半は大部分が性交シーンであり、ストーリーも性交シーンを中心に描かれている。修整は白抜きで処理されているが、体液や擬音の描写が多く卑わいに感じる。指定該当 ・ヤクザ映画のストーリーを見ているような今までにあまりなかったコミックで興味を感じた。しかし内容は暴力的、監禁しての性交。また性器の修整が不十分。陰毛もある。銃もあり、人格否定もはなはだしい。青少年には不向き。指定該当 ・ストーリーがあり、内容的にはとまかく読ませるところがあるが、性交描写が暴力的。白抜きした性器に描き方が具象的過ぎる。指定やむなし。 ・全編にわたり擬音、体液描写も多く、卑わい感が強い。暴力的で薬物の使用もあり。指定該当 ・擬音や体液の描写も多く卑わい感があり人格否定の描写も散見される。指定該当 ・白抜きで修整をしているが、修整が甘いところもあり、性描写もある。指定やむなし。 ・性行為その物は卑わい感があるが、性描写よりも暴力やレイプ等、残酷なシーンがある。指定該当 ・一方的な凌辱シーンが目につき、また複数人によって支配されている感を受け、人格否定につながる恐れがあるのは気になる。性器描写についてはさほどリアル感を感じない。保留 ・普通のヤクザ話として見ればそのまま普通に読める。話としても良く見かけそうな話。昔は男と女のからみで描かれたものを、男同士に置き替えたもの。表現は少し過激かもしれないが、それだけの事。ヤクザ物である以上、暴力は当たり前にあるのではないか。どちらとも言えない。保留 ・絵が上手い印象でリアリティがある。擬音が多く、体液も派手なところも一部にあるが、性器は白抜きで修整してあり、それほど明瞭ではない。ストーリー性があり、性表現も意味なく描いているという感じもしない。レイプシーンはあるものの、ヤクザの話であり、当然ありうる展開であり、許容範囲。指定非該当 ・性器部分の修整は小さめではあるが、できている。全体の内容から考えても性交場面も多過ぎると思えない。指定非該当